

千年の森便り No.134

2014.10.7

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.digi2.jp/>

事務局長 伊藤道男

sennenomori@hotmail.co.jp

活動の記録

10月4日(土)晴 臨時活動日

栗山、降幡、真鍋の会員3名に加え、座間の上田さん、君津の小山夫妻が参加され、6名でクロヤツシロランの花探しやキノコ観察など行いました。

○クロヤツシロランの花探し

花探しに先立ち、菌従属栄養植物の生態に詳しい国立科学博・筑波実験植物園の谷亀先生から「・・・果実が出ていれば花は必ず咲きます。花を見つけるにはかなりの手間がかかります、何度も自生地に行って花を見ている私でも1花見つけるのにそれなりに時間がかかります。花は落葉に埋もれて咲くので、落葉を一枚づつめくって探す以外に方法がありません。匍匐前進しながら探してみてください。」との助言を頂き、助言に従って、昨秋自生株が多かった場所や5年前智貴君が多数株見つけたホテイ岬など、徹底的に探しました。落葉の下で見えないランを踏まないよう気をつけながら、10時から3時まで根気よく。昨年株の多かった窪地の近くで、上田さんが果実3個の株を見つけましたが、皆の粘り強い搜索も空しく、花は見つからず残念でした。(真鍋)



クロヤツシロラン果実 10/4 栗山

○キノコ観察

9月の定例活動日に比べ、圧倒的に食べられるキノコ、それも秋のキノコが出始めたという感じがしました。台風18号通過で降雨が予想されますので、次の三連休が茸のピークとなるのではないのでしょうか。観察したキノコは次の27種類です。(降幡)

キシメジ科 7種 バカマツタケ、ミネシメジ、アオイヌシメジ、ダイダイガサ、チシオタケ、ナラタケモドキ、シイタケ(ほだ木植菌)

テングタケ科 2種 コテングタケモドキ、ドクツルタケ

ハラタケ科 1種 ザラエノハラタケ

ヒトヨタケ科 1種 ヒトヨタケ

フウセンタケ科 5種 キヒダフウセンタケ、ムラサキフウセンタケ、キショウゲンジ、不明種 2種

イッポンシメジ科 2種 ウラベニホテイシメジ、クラウラベニタケ

ホウキタケ科 2種 サクラホウキタケ(仮称)、ハナホウキタケ、不明種 1種

イボタケ科 3種 コウタケ、マツシシタケ、ケロウジ

ヒメツチグリ科 1種 フクロツチガキ

ベニチャワンタケ科 1種 ベニチャワンタケ

サルノコシカケ科 1種 マイタケ(ほだ木植菌)



チシオタケ 10/4 小山



ウラベニホテイシメジ 10/4 真鍋



ハナホウキタケ 10/4 小山



コウタケ 10/4 降幡



マツシシタケ 10/4 降幡

感想) クロヤツシロランの花を見つけることができませんでしたが、降雨後、どのようになるのか楽しみです。ツチアケビが立ち枯れしていることを考えると、千葉県は雨が少なかったので菌糸を伸ばすことができなかったものと思われます。したがって、クロヤツシロランも菌従属栄養植物ですので、関係する菌類が菌糸を伸ばすことができなかったため、あまり咲くことが無かったのではないのでしょうか。

できれば、次の三連休で、クロヤツシロラン搜索&キノコ観察などを予定いただければと思います。(降幡)

○ツチアケビの保護金網撤去

ツチアケビを保護している食害保護金網を全て撤去しました。自生地への落葉を妨げないためです。来春新芽の出る前に再設置します。島でただ一株果実をつけていた吊橋傍の金網は、何者かに裾をこじ開けられ果実を食べられていました。9月21日までは健在でした。相当強い力でこじ開けられた形跡があります。(真鍋)

○通路沿い樹木の種名札

広場周辺通路の樹木の種名札掛け、10株ほど追加しました。(栗山)

ホテイ岬にマムシ

栗山さんはホテイ岬でクロヤツシロランの花搜索中に、ホテイチク保護ネットの外側でマムシを見つけました。

(降幡)



マムシ 10/4 降幡

お知らせ

○臨時活動日

10月11日(土)キノコ観察及びクロヤツシロラン花探しの臨時活動を実施します。集合は鎌田屋旅館前10時です。参加可能な方は「ちば千年の森をつくる会」sennennomori@hotmail.co.jpにメールするか、090-1547-3683 降幡さんに電話下さい。台風18号の雨で秋のキノコの最盛期を迎えたと思われますし、5年越しのクロヤツシロランの花探しにもご協力下さい。

○秋のキノコ観察会

10月26日(日)秋のキノコ観察会に参加予定の方は、sennennomori@hotmail.co.jp宛メールするか、又は伊藤事務局長 09069296811 宛電話下さい。